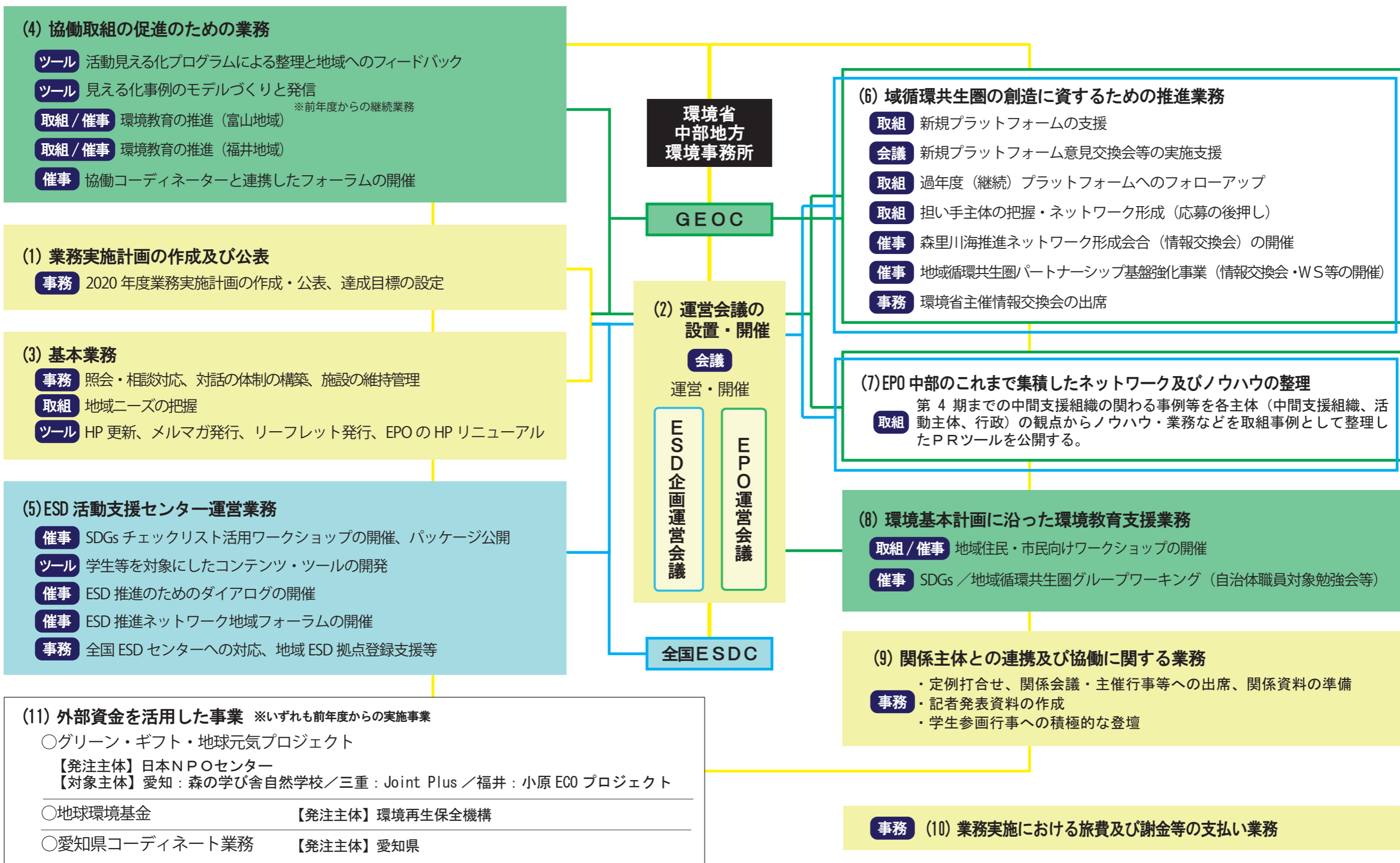


E P O 中部運営業務

2020 年度 業務実施計画



年度目標 協働・ESD 活動の質と量を拡充する EPO 中部の体制と機能確立するため、活動支援と活動効果の明示化につながるシステムを構築します。



2020年度業務スケジュール

仕様書業務項目	業務内容	担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1 業務実施計画作成	1-1 業務実施計画の作成及び公表	富田	作成	EPO/ESD 運営会議への 提示					実際のスケジュール反映		再掲載					
	1-2 達成目標・役割分担の設定	原														
	1-3 運営会議での協議、HPへの掲載	富田					修正→公開									
2 運営会議	2-1 EPO中部運営会議の開催・運営【2回】	清本、原、富田	資料作成、 開催準備・調整	EPO①運営会議 開催(WEB)	開催結果とりまとめ→公開					資料作成、 開催準備・調整	EPO②運営会議 開催	開催結果とり まとめ→公開				
	2-2 中部ESD企画運営会議の開催・運営【2回】	清本、原、富田		ESD①運営会議 開催(WEB)	開催結果とりまとめ→公開						ESD②運営会議 開催	開催結果とり まとめ→公開				
3 基本業務	3-1 HP(EPO、ESD)の更新維持管理	富田、小松	月2回以上の更新を適宜実施													
	3-2 EPO中部HPのリニューアル	富田、小松		EPO①運営会 議に確認	ウェブ・デザイ ナーとの協議	(7月期) 全業務の簡易報告書提出	ウェブ・デザイナーによる作業			移行	リニューアル	(1月期) 全業務の簡易報告書提出	EPO②運営 会議に報告	実施・対応結果等とりまとめ		
	3-3 メールマガジンの作成・発行	小松	月1回以上の配信を適宜実施												(全業務の年間報告書の提出)	
	3-4 リーフレットの作成・配布(印刷1,000部)(前年度300部)	富田、小松	適宜実施													
	3-5 地域ニーズの把握(次年度行事ニーズ、新規連携の可能性)【1/7〆切】	清本、原、富田	イベント時等に適宜実施し、報告資料作成									最終とりまとめ→提出				
	3-6 照会・相談対応、対話の体制の構築	清本、原、富田	適宜実施し、記録及び報告													
	3-7 定例報告	富田	毎月初めに報告資料を集計・作成、提出													
	3-8 施設の維持・管理	富田、小松	適宜実施													
4 協働取組の促進のための業務	4-1 協働コーディネーターと連携したフォーラム開催【信州で1回(3時間)】	清本、原、富田、小松	各連携主体に ヒアリング ↓ 企画案等を作成	EPO①運営 会議に諮る	調整・準備	フォーラム開催 (6-2連携)						EPO②運営 会議に諮る		実施・開催結果報告とりまとめ		
	4-2-1 環境教育の推進(富山地域)【フォーラム:2回(3時間)】	清本、原			開催準備→	フォーラム/WS 開催	フォーラム/WS 開催	事後調査実施								
	4-2-2 環境教育の推進(福井地域)【フォーラム:2回(3時間)】 【ワークショップ:1回(2時間)】	清本、原			参画呼びかけ 協議会設置	開催準備→	フォーラム/WS 開催	開催準備→	協議会/フォー ラム/WS開催	事後調査実施 エンディングノート作成						
	4-3-1 活動の見える化(対象:4-2)とフィードバック	原			見える化Pヒアリング→作成			フィードバック								
	4-3-2 事例のモデル化と発信(対象:4-2-1)	原、富田			モデリング(手順書)	公開										
5 中部地方ESD活動支援センター運営業務	5-1 SDGsチェックリスト活用ワークショップの開催【東海で1回(2時間)→小規模で計4回】、パッケージ公開	原、小松	パッケージ公開	ESD①運営会 議に諮る	ファシリ育成WS 開催	①ファシリ実践 WS開催	②ファシリ実践 WS開催	③ファシリ実践 WS開催	パッケージ活用事例として整理	公開	ESD②運営 会議に諮る		実施・開催結果報告とりまとめ			
	5-2 ESD推進のためのダイアログ開催【岐阜で1回(半日)】/Uエコパーク等と協働	清本、原、富田、小松			関係機関との調整・準備	ダイアログ開催										
	5-3 ESD推進ネットワーク地域フォーラムの開催【中部で1回(半日)】/学生参加促進	清本、原、富田、小松			登壇者との調整・準備	準備	フォーラム開催									
	5-4 学生等を対象としたコンテンツ等の開発	原	企画案等を作成		ツールの検討/コンテンツの作成	公開	活用	活用								
	5-5 地域ESD拠点登録支援等	原、小松	適宜対応													
	5-6 全国ESDセンター運営会議【2回】、連絡会【3回】、全国ESDフォーラム【1回】等に出席・参加	原、富田	適宜実施													
	5-7 全国ESDセンター等との連携(情報提供、アンケート実施支援など)	原、小松	適宜対応													

2020年度業務スケジュール

仕様書業務項目	業務内容	担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
6 地域循環共生圏の創造推進業務	6-1 新規プラットフォーム採択団体の支援【2団体】	清本、原、富田	各採択団体との協議(スケジュール確認、その他ヒアリング等)	サポート計画づくり	各団体のサポート計画(スケジュール・意向等)に応じて適宜実施				意見交換	中間報告				実施・開催結果報告とりまとめ					
	6-2 過年度プラットフォーム採択団体(3団体)へのフォローアップ				各団体のサポート計画(スケジュール・意向等)に応じて適宜実施				タネづくり/成果の見える化										
	6-3 新規プラットフォーム意見交換会(EPO主催)の支援【各団体×2回】、とりまとめ報告				関係主体、協働コーディネーターへのヒアリング	PF・SHへの参画呼びかけ/準備	意見交換会①(2団体)	とりまとめ・報告	同様に意見交換会②を実施してとりまとめ・報告										
	6-4 森里川海推進ネットワーク形成会合(情報交換会)の開催【三重で3回(3時間)】					企画案作成	EPO①運営会議に諮る	①意見交換会	②勉強会	③WS									
	6-5 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業(情報交換会・ワークショップ等)【中部で2回(2時間)】				6-1支援・連携開催	6-2支援・連携開催	落選団体、4-2連携団体、協働コーディネーター等へのヒアリング等			ヒアリング結果、支援ニーズ等のとりまとめ									
	6-6 担い手主体の把握・ネットワーク形成(応募の後押し)【各半日、2事例】				適宜実施														
	6-7 環境省主催情報交換会の出席【2回(2泊3日)】				適宜実施														
7 EPO中部のこれまでに集積したネットワーク及びノウハウの整理	富田、小松	EPO①運営会議に確認	検索リストの作成、過去報告書のデータ整理				リニューアルHPへの掲載作業	HP公開	EPO②運営会議に報告										
8 環境基本計画に沿った環境教育支援業務	8-1 地域住民・市民向けワークショップの開催【名古屋で2回(半日)/市役所と連携】	原	市庁内での検討後に	市へヒアリング	ワークショップ案の作成・確認	先方のスケジュールに基づきワークショップ開催①②													
	8-2 SDGs/地域循環共生圏グループワーキング【名古屋で1回(3時間)】	原、富田、小松					調整・準備等	ワーキング開催											
9 関係主体との連携及び協働に関する業務	9-1 事務所担当官と業務の責任者として定期的な打合せ・報告、資料作成対応	清本、原、富田	適宜実施(原則月1回以上の打合せ)																
	9-2 外部評価委員会への出席、資料作成対応等		適宜実施											外部評価委員会への出席					
	9-3 中部地方環境事務所主催行事への出席・参加		適宜実施																
	9-4 記者発表の作成等	富田、小松	適宜実施																
	9-5 GEOC主催の全国EPO連絡会議【2回】、その他関連会議等への参加・協力	清本、富田	適宜実施																
10 業務実施における旅費及び謝金等の支払い業務	小松	適宜実施																	
11 外部資金を活用した事業	11-1 グリーン・ギフト・地球元気プロジェクト	清本	日本NPOセンターの枠組みに則り適宜実施																
	11-2 地球環境基金	清本	環境再生保全機構の枠組みに則り適宜実施																
	11-3 愛知県コーディネート業務【相談・コーディネート各10件】	清本、原	愛知県(環境局環境活動推進課)の仕様書に則り適宜実施																

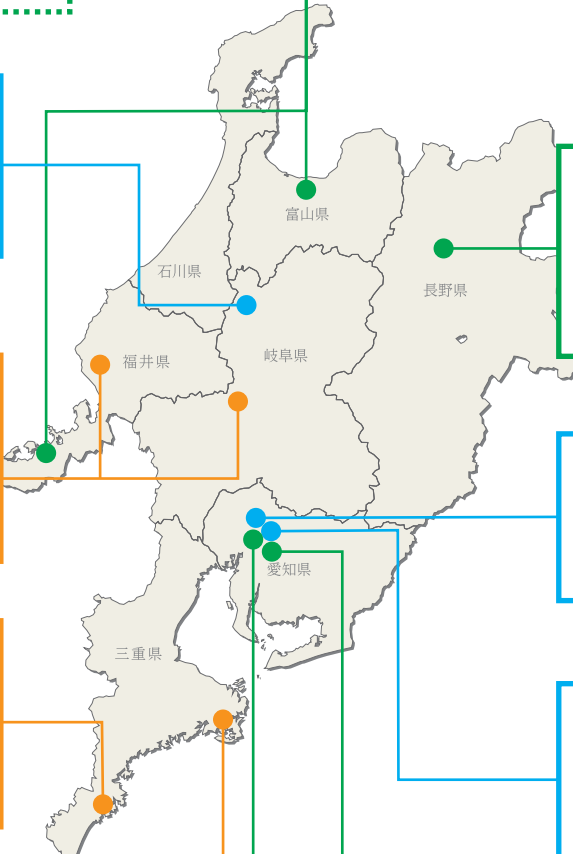
EPO 中部／中部地方 ESD 活動支援センター 2020 年度イベント展開案の検討資料

緑…EPO 業務
青…ESD 業務
橙…地域循環共生圏業務 (EPO 業務)

2020 富山フォーラム/WS
全 2 回開催
【題材】SDGs 普及啓発 (2018～継続)
【連携】(一社)PEC とやま

2020 小浜フォーラム/WS
全 2 回開催
【題材】食のまちづくりによる地域循環共生圏
【連携】(NPO)WAC おばま

2020 環境教育推進業務 ⑬
富山県内・福井県小浜市でそれぞれ
でフォーラム、ワークショップ等開
催 (協働コーディネーター連携)



2020 ESD ダイアログ ⑦
【題材】ユネスコパークを活用した ESD
【場所】岐阜県北部 (白山ユネスコパーク)
【関係】ユネスコパーク・教育関係者

**2020 協働コーディネーターと
連携したフォーラム** ①
【場所】長野県内
【関係】協働コーディネーター、小布施 PF、
根羽 PF など

2020 基盤強化 情報交換会 /WS ⑧
【題材】再エネ、地域循環経済、同時解決
など
【場所】福井県越前市または岐阜県郡上市
【関係】越前 PF、郡上 PF、企業、ほか

2020 SDGs チェックリスト活用 WS ②
【会場】EPO 中部等
【内容】チェックリスト活用実践連続講座
【関係】2019WS の協力コーディネーター等

2020 基盤強化 情報交換会 /WS ⑨
【題材】観光、地域ビジネス など
【場所】東紀州
【関係】尾鷲 PF、企業、ほか

2020 ESDネットワーク地域フォーラム ③
【会場】ウインクあいち (愛知県名古屋市)
【関係】SDGs 未来都市 (候補) 地域の大学
生等が集う『(仮) 中部 SDGs 未来都市学
生サミット』の開催 (ウェブ中継含む)

2020 森里川海情報交換会① ⑩
【題材】意見交換会; 伊勢湾・伊勢志摩国立
公園のワズユース (海洋ゴミ問題、1 次産
業とツーリズム、気候変動適応の取組等)
【場所】未定
【関係】伊勢志摩国立公園関係者 など

2020 地域循環共生圏ワーキング ④
【会場】名古屋市内
【関係】自治体職員対象

2020 森里川海情報交換会② ⑪
【題材】勉強会; 伊勢志摩地域の資源を活
用した地域経済循環
【場所】未定
【関係】伊勢志摩国立公園関係者 など

2020 名古屋市ワークショップA ⑤
【題材】コミュニティ/名古屋市にヒアリング
【会場】名古屋市内
【関係】要確認

2020 森里川海情報交換会③ ⑫
【題材】これからの伊勢志摩WS; 自然資源
のワズユースと地域循環の取組アイデア
【場所】未定
【関係】伊勢志摩国立公園関係者 など

2020 名古屋市ワークショップB ⑥
【題材】SDGs 未来都市/名古屋市にヒアリング
【会場】名古屋市可燃ごみ焼却工場「南陽工場」
【関係】周辺住民、藤前 VC 等

【参考】2018-2019 年度 開催イベント

2018 協働フォーラム
 【開催日】2018年8月4日
 【会場】金沢勤労者プラザ（石川県金沢市）
 【関係】協働コーディネーター

2018 ESD ダイアログ
 【開催日】2018年8月6日
 【会場】金沢勤労者プラザ（石川県金沢市）
 【関係】北陸コンソ、ユネスコスクール

2019 ESD ダイアログ ①
 【開催日】8月8日
 【会場】金沢勤労者プラザ（石川県金沢市）
 【関係】北陸コンソ、ユネスコスクール

2019 協働フォーラム ②
 【開催日】8月7日
 【会場】金沢勤労者プラザ（石川県金沢市）
 【関係】運営委員、協働コーディネーター
 石川県内の高校3チーム

2019 ESD ダイアログ ③
 【開催日】6月13日
 【会場】福井県国際交流会館（福井県福井市）
 【関係】企業、行政等

2019 ESD ダイアログ ⑤
 【開催日】11/16
 【会場】長野県飯田市
 【関係】ユネスコエコパーク、
 ユネスコスクール公開授業、
 僻地教育

2019 会議 ⑨-1
 地域循環共生圏づくり研究会
 第1回：EPOで8/23開催

2019 会議 ⑨-2
 地域循環共生圏づくり研究会
 第2回：なべくら高原森の家で
 11/22-23に合宿形式で実施

2019 会議 ⑨-3
 地域循環共生圏づくり研究会
 第3回：EPOで2/7開催

2019 会議 ⑩
 SDGs チェックリスト作成WG
 ・全2回
 ・EPOで開催

**2018 環境基本計画に
 沿った環境教育支援
 業務の勉強会（2回）**

**2019 環境基本計画に
 沿った環境教育支援
 業務のワークショップ**
 8/26 南砺市
 11/28 黒部市

2018 ESD ダイアログ
 【開催日】2018年10月13-14日
 【会場】志賀高原（長野県山ノ内町）
 【関係】ユネスコエコパーク・BR

2018 協働フォーラム
 【開催日】2018年10月5日
 【会場】長野もんぜんぷら座（長野県長野市）
 【関係】協働コーディネーター、同時解決

2019 協働フォーラム ④
 【開催日】11月23日
 【会場】なべくら高原森の家（長野県飯田市）
 【関係】同時解決、協働コーディネーター、
 地域循環共生圏PF事業採択主体 等

同時解決事業

2019 SDGs ワークショップ（全3回） ⑥

■1回目：5月28日
 【会場】日進市
 【関係】日進市職員、協働コーディネーター

■2回目：8月29日
 【会場】山本屋久屋店（名古屋市）
 【関係】山本屋店舗スタッフ等
 協働コーディネーター活用

■3回目：12月14日
 【会場】岐阜県大垣市
 【関係】西濃NPOネットワーク関係
 協働コーディネーター活用

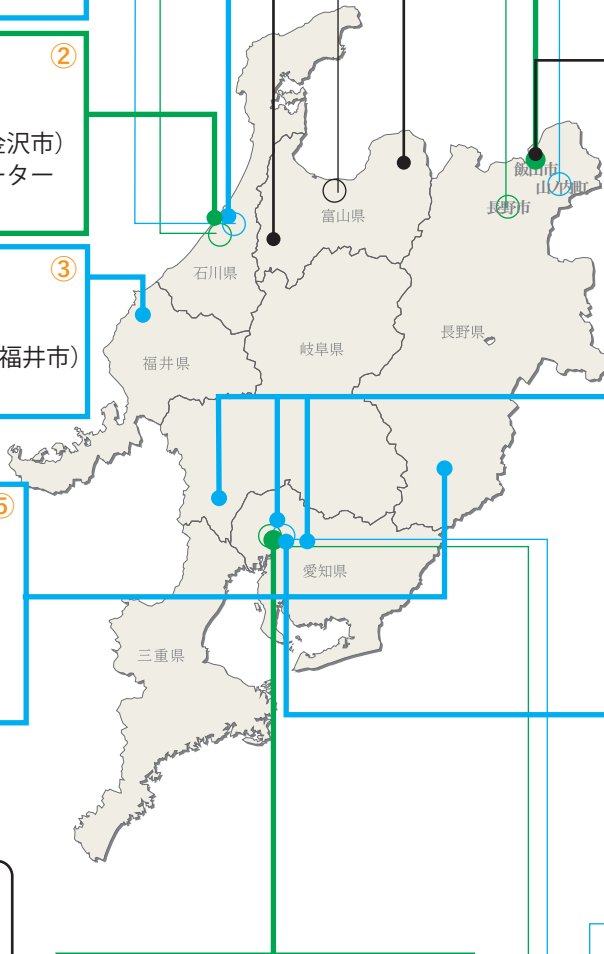
2019 ESDネットワーク地域フォーラム ⑦
 【開催日】11月4日（月・祝）
 【会場】ウインクあいち（愛知県名古屋市）
 【関係】企業、高校生

2018 ESD ダイアログ
 【開催日】2019年1月18日
 【会場】ウインクあいち（愛知県名古屋市）
 【関係】企業

2018 ESDネットワーク地域フォーラム
 【開催日】2019年1月25日
 【会場】ウインクあいち（愛知県名古屋市）
 【関係】地域拠点、自治体、NPO等

2018 協働フォーラム
 【開催日】2019年1月15日
 【会場】ウインクあいち（愛知県名古屋市）
 【関係】協働コーディネーター、自治体、NPO等

2018 協働ワークショップセミナー
 【開催日】2019年2月22日
 【会場】中部地方環境事務所（愛知県名古屋市）
 【関係】協働コーディネーター、自治体



2019 地域循環共生圏 WS ⑧
 【開催日】1月31日
 【会場】中部地方環境事務所
 【関係】自治体対象
 ※ファシリ等：協働C

EPO中部令和2年度事業アウトプット目標等一覧

仕様書業務項目	業務内容	担当	インプット(仕様書、計画書)		アウトプット(指標)		アウトカム		備考		
			外部関係者とその役割	催事、情報発信	調査、研究、作成、支援	コンテンツ等、情報の発信、記録	設備・システム・知見など	参加者(数)、対象者(数)など		アウトカム指標(アウトプット評価に加え)	アウトカム(予想される成果)
1 業務実施計画作成	1-1 業務実施計画の作成及び公表	富田			・地域循環共生圏の考え方を意識した、第5期事業の達成目標及び業務計画を含む令和2年度の業務実施計画(案)の作成	・第5期の業務実施計画(改訂版) ・2020年度の業務実施計画		・担当者、運営委員会等関係者による地域循環共生圏の考え方を意識した計画としての内容の十分な認知	・地域循環共生圏を意識した業務遂行計画として事業推進の基準が見える化される。		
	1-2 達成目標・役割分担の設定	原	・外部有識者:必要に応じて助言		・アウトプット、アウトカム目標、指標の検討 ・各業務の関係主体と役割分担について検討 ・ESDセンターの活動方針(案)について検討	・2020年度アウトプット・アウトカム目標一覧表 ・ESDセンターの活動方針(案)		・各指標による評価の実施と説明による、担当者、運営委員等の理解 ・ESDセンターの活動方針(案)についての、担当者、運営委員等の理解	・それぞれの業務についてアウトプット、アウトカムの評価が可能となる。 ・ESDセンター活動方針として事業推進の基準が見える化される。		
	1-3 運営会議での協議、HPへの掲載	富田		・EPO中部HP、中部地方ESDセンターHP掲載		・計画書掲載のWebページ		・計画のWebページ掲載	・公共事業としての透明性の確保		
2 運営会議	2-1 EPO中部運営会議の開催・運営【2回】	清本、原、富田	・外部有識者:運営委員として議論参加、助言	・EPO中部運営会議(2回)(WEB会議1回程度、名古屋市内(稲永ビジターセンター等の環境省関連施設(※会場借料無料)の会議室1回程度を想定)	・8名程度の運営委員(6~3級相当)で構成 ・年1回以上、委員の情報(役職、所属)に変更がないか確認 ・運営委員に業務参画を促すための進捗状況情報を適宜提供	・会議資料、議事録		・業務に活用された運営委員による有用な意見(議事録) ・業務に運営委員の積極的な参画を得た知見の活用(業務記録)	・運営委員より有用な意見をいただくとともに業務に積極的な参画を得て効果的な活動を展開に寄与する。		
	2-2 中部ESD企画運営会議の開催・運営【2回】	清本、原、富田	・外部有識者:運営委員として議論参加、助言	・EPO中部運営会議(2回)(WEB会議1回程度、名古屋市内の会議室1回程度を想定)	・7名程度の運営委員(6~3級相当)で構成 ・年1回以上、委員の情報(役職、所属)に変更がないか確認 ・運営委員に業務参画を促すための進捗状況情報を適宜提供	・会議資料、議事録		・業務に活用された運営委員による有用な意見(議事録) ・業務に運営委員の積極的な参画を得た知見の活用(業務記録)	・運営委員より有用な意見をいただくとともに業務に積極的な参画を得て効果的な活動を展開に寄与する。		
3 基本業務	3-1 HP(EPO、ESD)の更新維持管理	富田、小松	・専門業者:相談(外注)		・HP(EPO、ESD)の更新維持管理	・更新情報ページ(月2回以上)		・PV数	・PV数の増加、更新コンテンツに対するご意見(運営会議意見等)	・HPIによるEPO、ESDCの認知の拡大と好感度の向上	
	3-2 EPO中部HPのリニューアル	富田	・専門業者:相談(外注)		・HPの更新	・リニューアルされたHP			・更新されたHPIに対するご意見	・更新前よりよいHPデザイン ・HPIによるEPO、ESDCの認知の拡大と好感度の向上	
	3-3 メールマガジンの作成・発行	小松			・メールマガジンの作成・発行	・メールマガジン(月1回以上)		・発行部数	・発行数の維持、コンテンツに対するご意見	・HPIによるEPO、ESDCの認知の拡大と好感度の向上、掲載情報利用の拡大	
	3-4 リーフレットの作成・配布(印刷1,000部)(前年度300部)	富田、小松	・デザイン・印刷:外注		・リーフレットの作成・配布(印刷1,000部)	・リーフレット(A4フルカラー1,000部) ・配布記録		・配布数	・配布部数の増加、リーフレットに対するご意見(運営会議委員ご意見など)	・リーフレットによるEPO、ESDCの認知の拡大と好感度の向上	
	3-5 地域ニーズの把握(次年度行事ニーズ、新規連携の可能性)【1/7~6月】	清本、原、富田			・日常業務、運営会議、各種会議、相談対応、イベント参加者、アンケート等より、次年度の行事のニーズと新規連携の可能性を把握整理	・次年度行事ニーズと新規連携の可能性報告レポート			・次年度行事ニーズと新規連携の可能性の具体的な案件	・次年度企画におけるニーズに基づく事業展開の効率的合理的判断のための地域情報の収集	
	3-6 照会・相談対応、対話の体制の構築	清本、原、富田	・外部の様々な活動団体:活動等参加先		・相談・照会対応と助言、実施内容の記録 ・各種協議会や地域活動等への参加と情報収集。マッチング支援や助言。	・照会・相談の記録簿 ・協議会、地域活動、支援等の参加記録や取材記事		・紹介・相談件数 ・資料収集数、記録件数、記事件数	・全体件数の増加、助言に対する実績 ・記録件数、記事件数の増加	・紹介・相談による環境保全活動等への貢献 ・関連する情報の集積、連携・協働体制の構築、ノウハウの蓄積の推進	
	3-7 定例報告	富田			・業務日報等の関連文書の作成と報告	・業務日報等の文書			・事務所担当官の状況把握と理解	・事務所担当官の状況把握と理解による全体業務の円滑な運営	
	3-8 施設の維持・管理	富田、小松			・施設の維持・管理		・良好な職場・業務空間		・職員、来訪者、利用者の施設空間に対する感想	・円滑な活動を支える職場・業務環境の維持	
4 協働取組の促進のための業務	4-1 協働コーディネーターと連携したフォーラム開催【信州で1回(3時間)】	清本、原、富田、小松	・信州の中間支援団体、学識者	・フォーラム開催(信州地域想定、1回、30名程度、3時間程度想定、講師(大学准教授級、長野県内1名程度参画))				・参加者30名程度、学識者1名参加 ・中間支援団体との協働実績	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加	
	4-2-1 環境教育の推進(富山地域)【フォーラム:2回(3時間)】	清本、原	・協働コーディネーター、富山県内中間支援団体(地元ネットワーク)による環境教育推進 ・当市の自治体、企業、NPO、一般市民(参加)	・SDGs・地域循環共生圏について、地域への周知・理解等を図るための、SDGsフォーラム又はワークショップ実施(各3時間程度、富山県内を2回想定、講師各1名(大学教授級想定))	・各地域コア団体(各回1団体程度、計2団体程度)に対する活動の効果・影響、主体的学びの発信など事後調査(数ヶ月後の電話ヒヤリング等) ・取組の現状、今後広がり「見える化」のため地元団体とEPO中部の十分な情報共有(打合せ、意見交換)	・フォーラム又はワークショップ開催報告書 ・参加コア団体事後ヒヤリング報告書 ・協議会ワークショップ報告書		・フォーラム又はワークショップ参加者各30名程度、講師各1名 ・事後ヒヤリング対象2団体	・フォーラム又はワークショップ参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加	
	4-2-2 環境教育の推進(福井地域)【フォーラム:2回(3時間)】【ワークショップ:1回(2時間)】	清本、原	・協働コーディネーター、福井県内中間支援団体(地元ネットワーク)による環境教育推進 ・当市の自治体、企業、NPO、一般市民(参加)	・SDGs・地域循環共生圏について、地域への周知・理解等を図るための「食のまちづくり」を焦点としたフォーラム又はワークショップ実施(各3時間程度、福井県内を2回想定、講師各1名(大学教授級想定)) ・「地域のエンディングノート」を作成を目的とした協議会ワークショップの実施(福井県内1回程度、2時間程度)	・各地域コア団体(各回1団体程度、計2団体程度)に対する活動の効果・影響、主体的学びの発信など事後調査(数ヶ月後の電話ヒヤリング等) ・取組の現状、今後広がり「見える化」のため地元団体とEPO中部の十分な情報共有(打合せ、意見交換)	・フォーラム又はワークショップ開催報告書 ・参加コア団体事後ヒヤリング報告書 ・協議会ワークショップ報告書		・フォーラム又はワークショップ参加者各30名程度、講師各1名 ・事後ヒヤリング対象2団体 ・協議会ワークショップ参加者15名程度	・フォーラム又はワークショップ参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加	
	4-3-1 活動の見える化(対象:4-2)とフィードバック	原			・地域循環共生圏を意識した、【4-2-1、4-2-2】についての取組の現状及び今後の活動の広がり「見える化」的とりまとめ				・活動の現状と今後の広がり情報共有による見える化模式図等【再掲4-2-1、4-2-2】2事例の関係者へのフィードバック	・協働コーディネーターや地元関係者の「見える化」モード等の理解(ヒヤリング等)	・協働コーディネーターや地元関係者の「見える化」による活動理解の深化
	4-3-2 事例のモデル化と発信(対象:4-2-1)	原、富田			・活動団体側が中間支援組織に対して求めているニーズについての整理・分析による協働取組方のモデル(基本的フロー/理想的モデル)の整理	・富山地域【4-2-1】の取組のモデル化と発信	・協働取組方のモデル(基本的フロー/理想的モデル)		・「協働取組方のモデル」に対する感想やご意見(ヒヤリング等)	・様々な活動主体の「協働取組方のモデル」の認知による環境活動の理解の深化	
5-1 SDGsチェックリスト活用ワークショップの開催【東海で1回(2時間)→小規模で計4回】、パッケージ公開	原、小松	・協働コーディネーター、運営会議関係者、ESD拠点関係者、既催SDGsイベント関係者(スキルWS参加、活用WS講師役)	・SDGsチェックリストについて、ESDのキーマンなどの活用スキルの習得を目指したスキルワークショップ1回、実際に活用するワークショップを3回実施	・ワークショップの結果を取りまとめた活用事例パッケージの作成、公開	・ワークショップ開催記録 ・活用事例パッケージコンテンツの公開	・活用事例パッケージ	・スキルアップワークショップ(8人程度) ・活用ワークショップ(各15人程度)	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート) ・パッケージに対するご意見 ・チェックリスト活用事例	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加 ・SDGsチェックリスト等ツールの活用 の拡大とESDに対する貢献		

EPO中部令和2年度事業アウトプット目標等一覧

仕様書業務項目	業務内容	担当	インプット(仕様書、計画書)			アウトプット(指標)			アウトカム		備考
			外部関係者とその役割	催事、情報発信	調査、研究、作成、支援	コンテンツ等、情報の発信、記録	設備・システム・知見など	参加者(数)、対象者(数)など	アウトカム指標(アウトプット評価に加え)	アウトカム(予想される成果)	
5 中部地方ESD活動支援センター運営業務	5-2 ESD推進のためのダイアログ開催【岐阜で1回(半日)ノUエコパーク等と協働】	清本、原、富田、小松	・エコパーク:協働開催 ・専門家等のゲスト:講演、話題提供、講評	・ESD推進のためのダイアログの開催【岐阜で1回】半日程度		・ダイアログ開催記録		・参加者50名程度、専門家1名(大学准教授級)	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加	
	5-3 ESD推進ネットワーク地域フォーラムの開催【中部で1回(半日)ノ学生参加促進】	清本、原、富田、小松	・多様な主体:参加学生等・事例発表 ・専門家等のゲスト:講演、話題提供、講評	・学生参加、交流促すESD推進ネットワーク地域フォーラムの開催【1回開催】半日		・フォーラム開催記録		参加者50名程度、専門家1名(大学准教授級)	参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加	
	5-4 学生等を対象としたコンテンツ等の開発	原	・ツアー会社 ・現地の説明者	・SDGsガイドシート活用の体験ツアー(協働先のツアー会社主催)	・3種類程度の基本ガイドシートの作成 ・ガイドシート事例活用検証 ・事例を踏まえたガイドシートの使い方手引きの作成	・基本ガイドシート(3種類程度) ・具体的なシート事例(3事例程度)	・ガイドシート作成フォーマット、活用手引き	・エコツアー参加者60人程度	・関係者の意識や感想(ヒヤリング、アンケート)	・エコツアーにおけるESDの促進によるSDGsの理解の拡大	
	5-5 地域ESD拠点登録支援等	原、小松	・地域ESD拠点関係者		・地域ESD拠点情報交流、ESD拠点登録支援			・ESD拠点登録数	・ESD拠点関係者の意見や感想(ヒヤリング)	・中部地方のESDネットワークの拡充	
	5-6 全国ESDセンター運営会議【2回】、連絡会【3回】、全国ESDフォーラム【1回】等に参加	原、富田	・全国ESD活動支援センター、地域ESD活動支援センター		・ESDセンター企画運営委員会【2回】、連絡会【3回】、全国ESDフォーラム【1回】等に参加による情報収集と整理		・参加による記録等の情報共有		・中部ESD活動支援センター活動に反映させるべき知見の整理結果	・ESDの全国センター動向の把握	
	5-7 全国ESDセンター等との連携(情報提供、アンケート実施支援など)	原、小松	・全国ESD活動支援センター		・全国ESDセンター等との連携(情報提供、アンケート実施支援など)		・参加による情報共有		・関係者のご意見	・全国センター等との連携によるネットワーク形成、活動展開	
6 地域循環共生圏の創造推進業務	6-1 新規プラットフォーム採択団体の支援【2団体】		・採択事業者、取組関係者	・新規採択事業者(2団体程度)に対する各種伴走支援(会議運営サポート、人材育成支援、マンダラ作成等の課題整理、協働取組の各課程の支援、事業発掘プロセス支援、環境ローカルビジネスづくり提供など)、及び出口戦略を意識したオペレーターとしての参画・関与	・伴走支援の記録(2事業者)	・地域循環共生圏取組み(新規2事例程度)の伴走等支援についての知見		・担当官、専門家等の関係者のご意見や感想	・地域循環共生圏の取組に対する適切な伴走支援方法とその効果についての知見の蓄積		
	6-2 過年度プラットフォーム採択団体(3団体)へのフォローアップ		・採択事業者、取組関係者	・過年度採択団体関係者との信頼関係の構築による現場ニーズ把握と、情報発信のための他の行事等への登壇依頼	・他イベントにおける過年度採択事例の現場ニーズの情報発信事例記録		・取組の関係者の意識、ご意見や感想	・適切な取組現場ニーズの情報発信			
	6-3 新規プラットフォーム意見交換会(EPO主催)の支援【各団体×2回】、とりまとめ報告		・採択事業者、取組関係者	・地域循環共生圏プラットフォーム意見交換会等の開催支援(半日、1採択事業者当たり2回程度(新規採択時・実施時)、2団体程度を想定)	・各活動の地域で開催される意見交換会の後方支援、当日対応(進行、議事録の作成等)、 ・ヒヤリングシートによるヒヤリング	・地域循環共生圏プラットフォーム意見交換会等開催記録 ・ヒヤリング結果記録		・意見交換会参加者各回2団体程度以上 ・ヒヤリング対象、各採択案件当たり2団体程度	・参加者の意識、ご意見や感想(アンケート、ヒヤリング)	・地域循環共生圏の取組理解の深化、出口戦略への意識化	
	6-4 森里川海推進ネットワーク形成会合(情報交換会)の開催【三重で3回(3時間)】	清本、原、富田	・自然環境と地域社会接点拠点(国立公園等)関係者、一次産業・三次産業、自治体、企業、金融機関等(会合参加) ・講師(大学准教授級)	・森里川海推進ネットワーク形成会合(自然環境と地域社会接点拠点(国立公園等)の自然資源ワズユース共創のための一次産業・三次産業、自治体、企業、金融機関などを巻き込んだ情報交換会)の開催(三重県内、3回程度、3時間程度)		・森里川海推進ネットワーク形成会合記録		・参加者30名程度(各回) 講師(大学准教授級、東京1名想定、各回)	・参加者の意識、ご意見や感想(アンケート、ヒヤリング)	・森里川海運動の促進のための地域自然資源のワズユース重要性の共有	
	6-5 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業(情報交換会・ワークショップ等)【中部で2回(2時間)】		・地域循環共生圏PF事業採択団体)と企業(地域の商工会)等(会合参加) ・講師(大学准教授級)	・地域循環共生圏に資する活動を行う団体等(地域循環共生圏PF事業採択団体)と企業(地域の商工会)等との情報交換会、ワークショップの開催(2回程度(中部管内)、2時間程度)		・情報交換会、ワークショップ開催記録		・参加者30名程度(各回) 講師(大学准教授級、東京1名想定、各回)	・参加者の意識、ご意見や感想(アンケート、ヒヤリング)	・地域循環共生圏創造の推進主体となり得る企業・金融機関とのパートナーシップの形成の促進	
	6-6 担い手主体の把握・ネットワーク形成(応募の後押し)【各半日、2事例】		・地域循環共生圏プラットフォーム事業に応募し落選した団体又は応募を検討している団体等		・内容を充実させ地域で前向きに取り組む取組の応募の後押しをする情報交換(各半日、2事例程度)	・情報交換記録		・情報交換対象(2事例)	・地域循環共生圏プラットフォーム事業応募案件候補と応募事例への発展	・地域での地域循環共生圏に通じる担い手主体(団体等)についての把握及びネットワーク形成	
	6-7 環境省主催情報交換会の出席【2回(2泊3日)】				・環境省主催地域循環共生圏支援情報交換会等出席(2回程度、東京都内、2泊3日)		・参加による情報共有		・関係者のご意見	・採択団体との情報共有によるネットワーク形成	
7 EPO中部のこれまでに集積したネットワーク及びノウハウの整理		富田、小松	・EPO運営委員、ESD運営委員等:助言	・第4期までのノウハウ・業務などを中部地方の取組事例の整理 ・翌年度の公表に向けたPRツール(ウェブサイト含む)の検討 ・必要に応じてのEPO運営委員、ESD運営委員等へのヒヤリング	・過去の取組み事例の整理結果 ・PRツールの検討結果		・関係者の意見	・今後の活動に資する知見の獲得			
8 環境基本計画に沿った環境教育支援業務	8-1 地域住民・市民向けワークショップの開催【名古屋で2回(半日)ノ市役所と連携】	原、富田、小松	・名古屋市役所、南陽工場(開催連携)	・持続可能な暮らしの実現に向けたワークショップの開催(2回程度、半日、名古屋市内を想定)		・ワークショップ開催記録		・参加者各30名程度	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加	
	8-2 SDGsノ地域循環共生圏グループワーキング【名古屋で1回(3時間)】	原、富田、小松	・行政(基礎自治体)、NPO/NGO等(ワークショップ参加)	・部局横断的な連携創出の可能性を後押しする、地域循環共生圏・協働取組促進のためのグループワーキングの実施【1回】3時間		・ワークショップ開催記録		・参加者30名程度	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加	
9 関係主体との連携及び協働に関する業務	9-1 事務所担当官と業務の責任者として定期的な打合せ・報告、資料作成対応			・定期的打合せ(月1回以上)	・月次報告書の作成	・月次報告書		・関係者の意見	・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営		
	9-2 外部評価委員会への出席、資料作成対応等	清本、原、富田			・中部地方環境事務所開催会議への出席、資料作成対応	・対応資料		・関係者の意見	・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営		
	9-3 中部地方環境事務所主催行事への出席・参加										
	9-4 記者発表の作成等	富田			・プレスリリース資料の作成、実施(必用に応じて)	・プレスリリース資料(必用に応じて)		・関係者の意見	・EPO中部の認知度の向上		
	9-5 GEOC主催の全国EPO連絡会議【2回】、その他関連会議等への参加・協力	清本、富田	・GEOC:全国EPO連絡会議開催	・GEOC主催の全国EPO連絡会議【2回】、その他関連会議等への参加・協力			・全国情勢の情報		・関係者の意見	・GEOC事業への協力	
10 業務実施における旅費及び謝金等の支払い業務		小松									
11 外部資金を活用した事業	11-1 グリーン・ギフト・地球元氣プロジェクト	清本									
	11-2 地球環境基金	清本									
	11-3 愛知県コーディネート業務【相談・コーディネーター】	清本、原									